



新年会（2月）



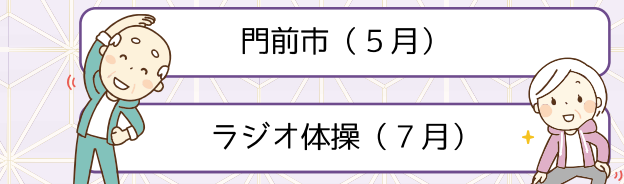
総会（4月）



春の交通安全運動（4月）



花の会植替え（5月）



門前市（5月）
ラジオ体操（7月）



お祭り（9月）

よこてらまち



ご挨拶

ようこそ、横寺町へ。新宿区横寺町は、歴史と人情にあふれた、心地よいまちです。

私たち横寺町交友会は、このまちに暮らすすべての方々が「安心して」「楽しく」「心つながる」生活を送れるよう、日々さまざまな活動を行っています。春の新年会、門前市、ラジオ体操、お祭り、防災訓練、年末の夜警など、四季折々の行事は、世代を超えてふれあえる貴重な機会です。

「参加したい気持ちはあるけれど、きっかけがない」「町会ってちょっと敷居が高いかも…」そんな方にも、気軽にのぞいていただけるよう、私たちは笑顔でお迎えます。

このパンフレットを通して、横寺町交友会の雰囲気と活動内容を少しでも知っていただければ幸いです。あなたの一歩が、まちの未来をもっと温かく、心豊かにしてくれます。

ぜひ、私たちと一緒に“まちづくり”を楽しみましょう。

慶弔金の制度

敬老祝い金、結婚祝い金、新入学祝い
 新成人祝い、弔慰金

お手伝い、役員募集

お祭り、門前市、その他の催しでお手伝いしていただける方を募集しています。

地域の力で子供たちの思い出を！
町の祭りはみんなで作る！
あなたも町内の主役に！

参加を希望する方はメールください。

情報発信中

LINE(よこてら掲示板)
 町内や新宿区の情報を発信中

よこてら新聞
 3回/年発行



お問い合わせ

✉ ushigomeyokotera@gmail.com



行事

- 敬老の日（9月）
- 秋の交通安全運動（9月）
- 防災訓練（10月）
- 花の会植替え（11月）



年末の夜警（12月）

資源回収（毎月）

横寺町について

横寺町の歴史 ～文化と人情が息づくまち～

江戸の昔より、横寺町は寺院とともに歩んできたまちです。

龍門寺、泉蔵院(廃寺)、正定院、長源寺、圓福寺、大信寺などの寺院が町名の由来となり、門前町として人々の暮らしと信仰を支えてきました。

明治時代に入ると、横寺町は文化人たちの拠点としても知られるようになります。

文豪・尾崎紅葉はこの地で『金色夜叉』などの名作を執筆し、劇作家島村抱月と女優松井須磨子は「芸術倶楽部」を設立。近代文学と演劇の舞台として、横寺町は新たな輝きを放ちました。

現在では、静かな住宅地としての顔を持ちながらも、町のあちこちに歴史の息吹が残っています。

お寺の境内、史跡案内板、そして町の人々の語りの中に、横寺町の物語は今も生き続けています。

このまちに暮らすことは、歴史とともに生きること。

横寺町交友会は、そんな地域の魅力を次の世代へとつなぐため、日々活動を続けています。

よこてらまちMAP

門市

門市は、2年に一度開かれる、町民による手づくりのフリーマーケットです。家庭にある品物を自由に持ち寄って販売するほか、子供たち向けのゲームや屋台も並び、地域の笑顔があふれる楽しい一日になります。



旺文社、 日本英語検定協会

株式会社 旺文社はこの町に拠点を置く教育出版社として、参考書や語学教材を通じ、長年にわたり学びを支えてきました。あわせて公益財団法人 日本英語検定協会も同じ場所に拠点を構え、さまざまな試験や学びの機会を提供しながら幅広い世代の英語学習を支援しています。どちらも地域の一員として横寺町交友会にご協力いただいています。

あさひ児童遊園

町内唯一の公園で、震災時の一時集合場所になっています。ここから一次避難所の愛日小学校に避難します。横寺町の防災倉庫もここにあり。明治時代、このあたりに浅田宗伯医院がありました。

祭礼

戦前、横寺町には大小のお神輿がありましたが、戦時中に国へ供出されました。昭和28年、赤城神社の再建に合わせて子供神輿と山車を新調し、祭りの伝統が復活。昭和55年には町民の協力で500万円を募り、大人神輿が完成しました。今も大切に受け継がれています。焼きそばやかき氷の屋台、射的やスーパーボールすくいなどの縁日も、町内の皆さんの手で楽しく運営されています。



泉鏡花墓地、椿椿山墓地

幻想文学の巨匠・泉鏡花のお墓が、横寺町の圓福寺にあります。令和5年、雑司ヶ谷霊園より改葬されました。泉鏡花は、師・尾崎紅葉との交流を通じて神楽坂にたびたび足を運び、この地に深い縁を持ちました。作品にも神楽坂の風情が描かれています。鏡花は家族とともに静かに眠っており、地域の文化を感じられる場所です。また、江戸時代後期を代表する文人画家・渡辺崋山の弟子・椿椿山の墓も圓福寺にあります。



赤城神社

赤城神社は、鎌倉時代に群馬の赤城山の神様をお迎えして創建された、牛込の守り神です。長い歴史の中で、地域の人々に見守られながら、今も神楽坂のまちに静かに佇んでいます。平成の再生を経て、伝統と現代が調和する美しい社殿が生まれ、訪れる人の心をやさしく包み込んでくれます。



芸術倶楽部跡 (島村抱月終焉の地)

明治の劇作家・島村抱月が亡くなった場所で、女優・松井須磨子との悲劇の舞台。西洋演劇の導入に尽力した「芸術倶楽部」の拠点でもあり、演劇史に残る重要な史跡です。



神楽坂

日本赤十字社 山崎記念救護活動要員宿舎

宝泉寺がこのあたりにあったといわれています。お祭りや門市の時は、駐車場前をお借りして、子供縁日や屋台を出しています。

朝日坂(あさひざか)

朝日坂は緩やかな傾斜の坂道で、長さ約140m、平均斜度2.5度の直線坂です。この坂の近くに泉蔵院(廃寺)という寺院があり、その境内にあった北野神社が朝日天神と呼ばれており、門前町を朝日町とよみました。そこから「朝日坂」と名付けられたとされています。北野神社は現在赤城神社の境内に遷座されています。

資源回収

資源回収集積場所

毎月1日に資源回収を行っています。年間17万円ほどになり、町会の重要な収入になっています。



防災訓練

消火器の設置場所

横寺町は武蔵野台地の東端に位置し、地盤が硬く、地震の揺れが伝わりにくいとされています。実際に先輩住人の話では関東大震災の時、揺れは感じられたものの、建物倒壊や火災の被害は比較的少なかったということです。10月頃に防災訓練を実施しています。



ラジオ体操

毎年、夏休みに入ってすぐの10日間、あさひ児童遊園でラジオ体操を行っています。他の町内も含めて毎日子供、大人合わせて50人くらいの参加があります。



大江戸線牛込神楽坂駅

尾崎紅葉旧居跡

明治の文豪・尾崎紅葉が、明治24年から亡くなる明治36年まで暮らした旧居跡です。ここで「青葡萄」「多情多恨」などを執筆し、代表作「金色夜叉」の連載期にも加筆・推敲を続けました。また、泉鏡花をはじめ多くの門弟を育てた場所で、神楽坂の文学史に深い足跡を残しています。現在は説明板が設置され、当時の面影を伝えています。

袖摺坂

袖摺り坂(そですりざか)は、横寺町と筆筒町の境にある短い石段の坂で、通行人の袖が触れ合うほど狭かったことから名付けられました。江戸時代には「乞食坂」とも呼ばれ、地誌にも記録があります。今も石段が残り、地域の歴史を静かに物語っています。

